

## しごと改革

### はんこレス

#### ●電子決定率

- ・電子決定促進の範囲を部長以上の決定事案にも拡大

[現状] 34.6% (2019年2月) ⇒ [目標] 60% (2019年度末)、80% (2020年度末)

### ペーパーレス

#### ●コピー用紙使用量

- ・コピー用紙使用量の各局等実績を公表（見える化）し、使用枚数が多い部等には必須取組を設定

[現状] 2017年度実績 3%減 (2016年度比) ⇒ [目標] 2020年度までに20%減 (2016年度比)

#### ●ペーパーレス会議実施率

- ・ペーパーレス会議の各局等実施状況を公表（見える化）し、取組状況等を庁内で共有
- ・幹部説明(局長、部長レク等)を原則ペーパーレス化

[現状] 会議実施率48% (2018年度末) ⇒ [目標] 90% (2020年度末) を設定

### キャッシュレス

- ・2019年度中に、恩賜上野動物園など5施設※のキャッシュレス決済導入を推進  
(2018年度までに文化施設、文化財庭園、スポーツ施設、都立病院などの主要施設には導入済)  
※恩賜上野動物園、葛西臨海水族園、多摩動物公園、神代植物公園、井の頭自然文化園
- ・2019年度からQRコード決済の実証実験を実施（恩賜上野動物園）

### デジタルしごと改革

- ・行政手続のオンライン化と併せて、都庁におけるデジタルファーストやワンスオンリー、ワンストップの実現を目指し、部局間の情報連携などに向けた「デジタルしごと改革」に着手
- ・2019年度中に、ワンスオンリーのモデル事業を試行実施

### 女性職員の活躍推進

- ・育児休業中等であっても管理職選考A・Bの全部受験（論文・口頭試問等）を可能とする制度改正を実施

# 2020改革プラン（平成30年度改定）ポイント

## 見える化改革

- ・全事業ユニット（2017年度15ユニット、2018年度43ユニット）の点検・評価を実施済
- ・今後は、引き続き進行管理を行うとともに、政策評価の実施により局事業の自律的な見直しにつなげていく。

## 仕組み改革

### 政策評価の制度構築

- ・2019年度から実施。2020年度に向けて制度をブラッシュアップ

### 組織・人材マネジメントの強化

- ・喫緊の課題への対応を図るため、戦略政策情報推進本部及び住宅政策本部を設置し、青少年・治安対策本部を都民安全推進本部に改組（2019年4月）
- ・今後、東京2020大会後の都を取り巻く状況変化を踏まえ、組織全体の在り方について検討

### 監理団体改革

#### 【改革①】団体の統廃合・新設

- ・社会情勢の変化等により顕在化した新たな課題の解決に当たり、監理団体の統廃合等を実施

#### 【改革②】団体常勤役員ポスト等の見直し

- ・監理団体の常勤役員に占める都関係者割合を見直し、常勤役員に外部人材や固有職員を登用

#### 【改革③】団体の基準・名称等の見直し

- ・3つのシティの実現に寄与する団体を明確化し、協力関係をより強化するため、「監理団体」「報告団体」の基準や名称などの見直しを実施 → 「政策連携団体」・「事業協力団体」へ